

【全訳】

ヒロキとサキは中学生で、マイクはオーストラリアから来た彼らのクラスメートです。ヒロキとサキがマイクのところにやって来て、彼にちらしを見せます。

| 緑公園の夏祭り——8月3日(土)            |         |
|-----------------------------|---------|
| ステージ・スケジュール                 |         |
| 午後5時                        | 開会式     |
| 午後5時30分                     | ダンス・ショー |
| 午後6時                        | 和太鼓演奏   |
| (演奏のあとに和太鼓教室に参加できます。)       |         |
| 他の催し                        |         |
| ・祭りの歴史(午後4時～午後8時)           |         |
| 過去の祭りの写真を見てください。            |         |
| ・フード・パーク(午後4時30分～午後8時30分)   |         |
| 食べ物屋や料理店のさまざまな食べ物を楽しんでください。 |         |
| ・池のそばの花火(午後7時～午後8時30分)      |         |

ヒロキ：やあ、マイク。これを見てよ。8月3日の土曜日に、緑公園で夏祭りが開催されるんだ。サキとほくはノボルとユミといっしょにそこに行くんだ。ほくらといっしょに行くかい？

マイク：もちろん、行きたいよ。でも、その日は妹の世話をするために、夕方まで家にいなければならないんだ。5時ごろ家を出るつもりだよ。

サキ：心配しないで。開会式は5時に始まるけど、そのあといくつか催しを楽しめるわ。

マイク：よかった。どんな催しがあるの？

ヒロキ：まず、和太鼓の演奏があるよ。

マイク：「わだいこ」って何？

サキ：それは日本の太鼓の一種よ。私たちはそこで和太鼓教室に参加することもできるわよ。

マイク：おもしろそうだね。オーストラリアでほくは吹奏楽団に入っていて、太鼓を演奏していたんだ。でも、和太鼓については一度も聞いたことがないな。

ヒロキ：ほくの兄が和太鼓チームのメンバーなんだ。兄はその教室のインストラクターの1人になるよ。(ア)彼に教わりたいかい？

マイク：もちろん。ほくは今、和太鼓に興味があるよ！ 和太

鼓教室のあとは何をするつもりなの？

サキ：池のそばで花火を見るつもりよ。日本の花火は見たことがある？

マイク：いや、ないけど、日本の花火はとてもきれいだと言っているよ。だからそれを見るのは楽しみだよ。

ヒロキ：そうだね。そしてこの祭りの花火製作者は毎年新しいタイプの花火を作るんだ。昨年の花火はいちばんすばらしかったよ。

サキ：ヒロキ、私もあなたと同じ意見よ。私はまだその花火を覚えているわ。ほら、マイク、祭りで写真の催しがあるわ。もしかすると、昨年の花火の写真をいくつかそこで見られるかもしれないわ。写真の花火は実際の花火ほどすばらしくはないかもしれないけど、それは見る価値があると思うの。

マイク：ほくは実際の花火を見る前にそれを見たいけど、和太鼓教室のあとに十分時間があるかな？

ヒロキ：残念ながらないと思うけど、演奏の前にその催しに行くことができるんじゃないかな。

マイク：いいアイデアだね。それじゃ、花火の前に何か食べる時間はあると思うかい？ そのときまでにはほくはおなかがついていてと思うんだ。

ヒロキ：食事の催しがあるよ。ほくたちはそこを訪れて、何か食べ物を買うことができるよ。いくつかの食べ物の屋台で食べ物をテイクアウトすることができるから、花火を見ている間にそれを食べることができるよ。

サキ：私の姉はトルコ料理店で働いているんだけど、その料理店がケバブの屋台を出す予定なの。私はそこを訪れたいわ。

ヒロキ：いいよ。ほくはケバブが大好きだよ。

マイク：完璧だね。土曜日はどこで待ち合わせるの？

サキ：緑公園の入り口ではどう？ マイク、5時30分までにそこに着ける？

マイク：着けると思うよ。ほくたちは最初に写真の催しに行くんだね？

ヒロキ：そうだよ。でも、実はノボルとユミは、和太鼓の前にダンス・ショーを見たがっているから、ほくらは写真の催しを訪れたあと、彼らとステージの前で会うことになると思うよ。

マイク：わかった。それで、いっしょに演奏を見るんだね。土曜日まで待ちきれないな。